

福島第一原子力発電所 増設多核種除去設備用塩酸の漏えいについて

< 参 考 資 料 >
2019年10月25日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2019年10月24日午前8時45分頃、増設多核種除去設備（増設ALPS）用の塩酸（濃度10%）について、タンクローリーから塩酸貯槽への移送作業を開始したところ、約100Lの漏えいが発生しました。漏えいは増設ALPS建屋の壁面（屋外）にある注入口に接続したタンクローリーのホースが外れることにより発生しており、速やかにタンクローリーからの移送を中止することで漏えいは停止しました。
- 漏えいはアスファルト舗装上（壁際は未舗装）で発生し、吸着マットによる回収、ソーダ灰（炭酸の粉）による中和処置を行うとともに漏えい箇所の土壌の回収を実施済みです。なお、近くにあったA排水路に繋がる排水溝に若干量流れ込んだ跡を確認したため、付近の下流にある溜め枘と、A排水路排水口にてpH測定をしたところ、中性であることを確認しており、環境に影響を与えるものではないと考えております。
- 本件については、同日午後4時頃、福島県相双振興局より、水質汚濁防止法上の事故報告対象にあたりと判断されたことから、原因と対策を講じたうえで、速やかに当該振興局へ届出を行う予定です。



漏えい範囲

タンクローリー

接続箇所



漏えい箇所(ホース外れ)

(参考) 漏えい場所と排水路との位置関係図



— : 排水路

★ : pH測定箇所